

江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第1回）要点録	
開催日時	令和4年3月24日（木）14時00分～15時50分
開催場所	江田島市役所 本庁 4階 401・402会議室
出席者	<p>■有識者会議委員（敬称略 所属団体については就任時の状況）</p> <p>小跡 孝廣 江田島市自治会連合会（代理：副会長 濱谷 一眞） 大下 直美 江田島市PTA連合会 後藤 峻 江田島市交流定住促進協議会 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 平田 圭司 江田島市商工会（代理：事務局長 渡辺 高久） 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 上水流 久彦（座長） 広島県公立大学法人県立広島大学 長光 正樹 江田島市金融懇談会（広島銀行） 田辺 克也 厚生労働省広島労働局呉公共職業安定所</p> <p>■江田島市</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】 畑河内 真 企画部企画振興課 課長 飴野 秀樹 企画部企画振興課 課長補佐</p> <p>【事務局：株式会社エブリプラン】 木原 隆</p>
欠席者	山本 夏子（江田島市認定こども園みたか保護者会） 小原 正清（江田島市農業委員会） 梅田 真紀（広島県健康福祉局子供未来応援課） 上迫 滋（広島県CCMO）
傍聴者	—
会議次第 及び資料	会議次第 1 開会 2 座長の指名 3 座長あいさつ 4 自己紹介 5 報告・協議事項 （1）令和2年国勢調査の結果について （2）令和3年市民満足度調査の結果について （3）第1期人口ビジョン・総合戦略の実施結果について （4）第2期人口ビジョン・総合戦略の進捗管理と変更について （5）地方創生推進交付金の実施状況について 6 その他 7 閉会 【資料】 資料1：令和2年国勢調査の結果について 資料2：令和3年市民満足度調査の結果について 資料3：第1期人口ビジョン・総合戦略の実施結果について 資料4：第2期人口ビジョン・総合戦略の進捗管理と変更について 資料5：地方創生推進交付金の実施状況について 参考1：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

事務局	<p>1 開会</p> <p>本日お伺いしている皆様が揃われましたので、お時間は早いですが、始めさせていただきます。</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>会議の開催に先立ちまして、事務局からのお知らせということで、本日の会議資料につきましては、3月18日に開催しました本部会議において、指摘等があったところについて、修正をしました資料一式をファイリングして皆さんにお配りしております。資料は次第、委員名簿、資料1から5、参考1です。</p> <p>また、今年度新規委員になられた方に関しては、第2期人口ビジョン・総合戦略の冊子を配布させていただき、すべての皆さんに本日議題の地方創生推進交付金に係る事業で、「えたじまものがたり博覧会」のパンフレットを参考に配布させていただいております。</p> <p>また、本日の会議録の作成ということで、会議を録音させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、ただ今から令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催いたします。会議は次第に沿って進めさせていただきます。</p>
事務局	<p>2 座長の指名</p> <p>本日お越しいただいている委員の皆様は前委員の任期満了に伴い、新たに令和3年度から委嘱させていただきました。それに伴い、新たに座長を決定する必要があります。有識者会議設置要項第5条第1項の規定により、座長は委員の中から市長が指名するとなっております。県立広島大学の委員さんをご指名したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>⇒異議なし</p>
事務局	<p>異議なしということで、座長をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ご挨拶をお願いします。</p>
座長	<p>3 座長あいさつ</p> <p>皆さん、こんにちは。このたび座長の指名を受けました。どうぞよろしく願います。</p> <p>昨年度、この会議において江田島市の第2期人口ビジョン・総合戦略を策定されました。今年度から地方創生に関することも含めて、この会議で検証していくことになっております。本日もご出席いただいております皆様からは、それぞれの専門の分野、立場から、専門的なご意見、また、忌憚のない率直なご意見を頂戴できればと思っております。</p> <p>本日の会議が円滑に進むよう、皆様のご協力を頂戴できればと思っております。どうぞよろしく願います。</p>
事務局	<p>4 自己紹介</p> <p>さて、本日は当会議が今年度初めての開催になりまして、委員の皆様におかれましても各所属での異動等により、初めてご出席いただく方もおられます。あらためて皆様一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>なお本日、当会議の委員のうち、4名の方から欠席の連絡をいただいております。また、代理として2名の方に出席をいただいております。</p> <p>それでは、右回りであいさつをお願いします。</p>
各委員	<p>※自己紹介（P1の「出席者－有識者会議委員」を参照）</p>
事務局	<p>では、事務局からも自己紹介をさせていただきます。</p> <p>※事務局から自己紹介</p>
事務局	<p>以上が事務局でございます。</p> <p>また、この会議には議事録の作成支援として、総合計画・総合戦略検証支援業務の委託先である株式会社エブリプランから1名の方に出席いただいておりますので、お知らせいたします。</p>
事務局	<p>5 報告・協議事項</p> <p>それでは、当会議の進行につきましては、有識者会議設置要綱第5条第2項の</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	規定により座長が議長となりますので、ここからの進行は議長へお願いします。
座長	それでは、ここから私が努めたいと思います。早速ですけれども、報告・協議事項の1番目、令和2年国勢調査の結果について事務局から説明をお願いします。
事務局	(1) 令和2年国勢調査の結果について【資料1】 ※ 内容は、資料1のとおり
座長	この件に関して、ご質問やご意見等ございませんでしょうか。いかがでしょうか。 1点だけ質問させていただいてよろしいですか。この人口ピラミッドを見たときに、20歳代から30歳代にかけて、女性と男性の比率で見たときに、少し比率がアンバランスなのですが、何か要因があるのですか。
事務局	これはやはり自衛隊だと思うのです。男性の20代とかいうと、そういうことだと思っております。
座長	分かりました。その他ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、続きまして2番目です。令和3年市民満足度調査の結果について事務局からご説明をお願いします。
事務局	(2) 令和3年市民満足度調査の結果について【資料2】 ※ 内容は、資料2のとおり
座長	この件に関して、委員の皆様からご質問やご意見などございませんでしょうか。いかがでしょうか。 また、質問させてください。この産業・観光では非常に満足度が伸びてきているのだけど、2枚目で見ていくと青が多いというのは、どういうふうに解釈したらよろしいでしょうか。期待値が高い分、頑張っているけどというような理解でよろしいですか。
事務局	伸びてはいるのだけのことですが、そもそもの発射台のところが低かったというのはあると思います。このアンケートを採り始めたときは、いろんな産業系の項目はポイントが低い部類になっていて、その中でもいろいろ取り組み成果が目に見えて、メディアに載るといようなことがあったところについては、伸びているといようなところかなと思います。最初が低かったといようなところと思います。
座長	この点、他によろしいでしょうか。 よろしければ、次の項目に移りたいと思います。それでは、第1期人口ビジョン・総合戦略の実施結果について、事務局よりご説明をお願いします。
事務局	(3) 第1期人口ビジョン・総合戦略の実施結果について【資料3】 ※ 内容は、資料3のとおり
座長	それでは、ご質問やご意見等ございますか。いかがでしょうか。 市金融懇談会の委員さん、お願いします。
委員	丸3の「子どもが生まれ、育つ江田島市づくりを進める」というところの「大柿高校の定員充足率」、これは平成26年の現状値と目標値をものすごく大きく上回っていますが、これは何か要因があったのですか。
事務局	この計画を最初に立てたときは、大柿高校は定員が80名を切っていて、県教委からも「80名の定員割れが続くようであれば、閉校しますよ」といようなことを言われていた状況だったのです。現在は定員をほぼ充足するぐらい毎年入ってきていただいている。取り組みとして地域と学校と行政が一緒になって、いろいろ盛りあげる策を行ってきました。例えば、公営塾です。学校内に塾を設けて、勉強してもらい取り組みにより、進学率を上げようというのもありますし、地域の方で、遠方から来た生徒さん向けの寮をつくったというのがあります。 あとは、PRを主体的にやってくれる魅力化コーディネーターを入れて、ホームページの更新やSNS等をしっかりやっていただき、近隣の広島市や呉市の中学校に対して、大柿高校への進学についてPRするなどです。そういった取り組みをした結果、このような結果になっていると思っております。以上です。
委員	ありがとうございました。

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

座長	その他ございますか。いかがでしょうか。 市自治会連合会の委員さん、お願いします。
委員	<p>丸4の5番、6番のところですか。先ほど説明がありましたが、「がん検診受診率とメタボ該当者及び予備群該当者の割合」というのが非常に悪いところなんです。私は国保の委員もやっているのですが、この状況はずっと続いているんです。いろいろな手を使って受診率を上げていこうということをやっているのですが、なかなか前へ進まないということで、市長を含め非常に困っている状態です。ただこれは放っておいたら絶対いけないです。健康、体の問題ですから、一番大事な問題だと思うのです。健康なくして何もできません。</p> <p>これは健康寿命に関わるのです。だから早く悪い病気を見つけて、早く治していくということが非常に大事なので、健康寿命を延伸させるという中で、非常に大事だと思うのでなんらかの手を打たないと、よくはならないと思います。</p> <p>もう1つ、18番の「地域防災リーダーの育成」というものがあるのですが、これも私は防災リーダーをやっているのですが、人数がざっと50名ぐらい減っていますよね。実績が少ないのですが、これはある程度年を取られて、辞められた方が50名ぐらいいるのです。今年度も減りつつあるので、新しい人を増やしていこうということで、これについてもいろいろ手を打ってやるのですが、増やすよりも減るほうが多く、だから一時期250名ぐらいだったのですが、今は200名前後で推移しています。これも津波、地震に関わる問題なので、江田島市も島なので南海トラフの大地震がもし仮に来れば大きな影響を受けるので、やはり防災リーダーをしっかり育成しておかないといけないなと思います。</p> <p>それでもう1つ思うのですが、江田島市は31の自治会があります。その中で、実は防災リーダーの数がものすごく多い自治会と、1自治会で1人とか3人しかいない自治会があるのです。多いところは1自治会で10名前後いるのです。ただ少ないということではなくて、自治会ごとに大きなアンバランスが起きているということなので、これについてもやはり江田島市として思い切った手を打つ必要があるのではないかなと思います。</p>
座長	この件に関して事務局、また、委員の皆さんから何かありましたらお願いしたいのですが、いかがでしょうか。
事務局	では健康のところについて説明等させていただきたいと思います。
座長	事務局からお願いします。
事務局	<p>所管部署も健診受診等がなぜ上がらないかというのはすごく悩んでおり、電話で勧奨するなどいろいろやっています。聞き取りをしたら、もう自分は普段から病院に行っているから健診は受けなくていい、忙しくて時間が取れないなど、そのような回答が多かったりして、苦労しているのです。来年度から健診を推進する役割の人を設けて、その方に声かけしてもらおうという取り組みをやるようにはしているのですが、実際どうでしょう。逆にお伺いするのですが、市自治会連合会の委員さんから見ても、どうやったら皆さんに健診へ行っていただけたらか、何かアイデアとか、思われることがあれば教えていただければ助かるのですが。</p>
委員	<p>市の職員も担当課もいろいろ手は尽くしてやっているみたいなのですが、いろいろ考えて普通に考えることは皆もうやっています。ただ、いかにしてその必要性を住民に分かってもらえるか、ここの対策がもう少し必要なのではないかと考えます。「受けて。受けて。」と言っても、今ありましたように、「病院に行っているのだからもう俺はいいよ」、「私はいいよ」というのがあるのですが、実は病院に行っている分については、書面を出せばいいのです。ずっと行っていたら別に受けなくても。例えば、がん検診を受けずにがんの関係にかかっている人は、行っていますから、それは出せるのです。国保ではなく、会社員は会社で受診しますよね。それについても出したものについては、その結果を出してほしい。それでもいいと言うのですが、それは出されていないでしょう。</p> <p>ですから、この数字が住民全体の値ではないとは思いますが。ただやはり、各住民が自分の体のことなので、しっかり自己管理を徹底させるような何か思い切ったPR活動をしなければいけないかなとは思っています。</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

事務局	ありがとうございます。
座長	この件に関して、もしこういう理由で行くのではないかと、こういう要因があるのではないと思われる事があつたら、ぜひ委員の皆さんからご意見をいただきたいのですが、何かございますか。 市交流定住促進協議会の委員さん、お願いします。
委員	少し気になったのが、その受診率の男女比がどうなっているのかというのが分かつたら参考になるのかなと思つたのですが。そういうデータはあるのでしょうか。
事務局	持ち合わせてはいないです。
委員	なんとなく男性が低いのではないかなという予測があるのですが。
委員	データはとっています。今年度は国保の委員会をコロナの関係で開催してないのです。書面決議でした。申しわけないのですが、最新のものはないです。
委員	その辺の少し分析を細かくしていくと、何か見えるのかなと思つたので。
事務局	少し分析が足りないなというのは、今回私たちも所管課に聞いて思つたところがあつて、例えば江田島市の数字は押さえているのです。こういう理由で来てもらえていないというのも問い合わせで聞いたりもしているのですが、では、他の市町と比較して、何か違う取り組みをやっているのか、傾向として何か違うことがあるのかとか、そこを押さえているかということ、押さえていないところがあるのです。そういうところがあるので、うまくいっているところ、受診率が高いところに聞いて、そこと何が違うのかというのを探してみたらいいのではないかなという投げかけをしているところですよ。
座長	まずは要因分析です。そういう性別差も含めて分析して、いい事例の自治体があれば調べていただいて、対策を考えていただくということが大切だなと思つました。特に現状値から比べると実績値がもう半減というところもあるので、かなり深刻な状況だなと。令和2年度はコロナという中であまり受診したくないとか、そういう可能性もあつたのかもしれませんが、もう少し調べていくことが必要かなと思つたところです。 その他ございますか。いかがでしょうか。 市金融懇談会の委員さん、お願いします。
委員	丸1の「地域で暮らすためのしごとをつくる」というところで、4番、「鮮度の高いカキの生産・出荷体制の構築」というところで、江田島市といえばカキで、私もこちらに来て冬場は特においしいカキをたくさんいただいたのですが、これを見ると現状値、平成26年が0パーセント、目標値が100パーセントで、実績が37.5パーセント。ここはびっくりしたのですが、鮮度の高いカキは出荷されているように思うのですが、37.5パーセントというのは驚いているので、教えていただきたいです。
座長	市漁業振興協議会の委員さん、お願いします。
委員	現在、広島県のカキ養殖業者は300業者ぐらいいます。カキ養殖の現状を申しあげますと、温暖化が1つ。それと瀬戸内の海がきれい過ぎる。下水道の施設が完備され、植物性プランクトンの発生がかなり制限されているというような現状の中で、カキ養殖を一生懸命やっているわけです。それで現状は、非常にカキの成育が悪くなったというのはあるのです。ただそういったその厳しい条件の中でも、いろんな取り組みをしながら、いいカキをつくっているのです。 ここで0というのは、おそらく海水氷の施設のことを言っているのだらうと思うのです。海水氷の施設はわれわれ市漁業連絡協議会でこれを普及しようということで取り組んだのですが、今、内能美、高田の地域に1施設できているのです。これが広がらなかったというのは、鹿川も大原も、既存の施設があるので。だから重複してつくる必要はないので、この0というのはおそらくそういうことで、海水氷の施設の普及がそこまで伸びなかったということがあるのです。 今、カキ養殖は、若い者、3代目ぐらいの後継者になって、若い人が一生懸命取り組んでおります。インターネットを使い、いろんな販売方法を研究してやり、カキの値段はこのコロナ禍でも去年、おととしと、値段が上がりました。相当若い人が一生懸命PRしている。江田島市にもPRしていただいて、ある程度利

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	<p>益が出るようにはなっているのですが、ただ1つ問題は、いろんな問題があるのですが、打ち子さんの不足があるのです。外国人労働者の受け入れがずっと順調に来ていたのですが、今こういうコロナ禍で、海外からの人的な流入を国全体が抑えたという昨年の状況があって、生産量が減少しているのです。</p> <p>カキの水揚げは出荷キロ数かける単価になるのです。だから単価がよくても出荷量が減れば、そうそう利益はないのですが、ただ単価が上がったということは事実で、ある程度江田島市の固定資産税も、所得税も、去年おととしと増えているのではないかという思いはあるのです。だからこの数字はペケ印がついているのですが、一生懸命取り組んでいるという状況だけは理解しておいていただければと思うのですが。海水氷の施設の数ではないのですか。</p>
事務局	<p>そうです。海水氷の利用というところで、今言われるように、海水氷の製氷機がありますね。</p>
委員	<p>あります。</p>
事務局	<p>その海水氷を使うことによる鮮度の高いカキというところでのパーセントとなっておりますので、委員が言われるように合っていると思います。</p>
委員	<p>厳しい環境の中でも、一生懸命取り組んで、いいカキをつくるような努力を、江田島市も一生懸命やっていただいて、県もやっていただいているような状況で、なんとか生き残って、やっていくような方法で、進んでおりますので、また、カキを買ってください。</p>
座長	<p>そうすると今課題としてあるというのは、そういう海外からなどの打ち子さんをやってくれるような人たちが足りていないということが大きな課題で、単価的には上がっているというところで理解しておけばよろしいですか。</p>
委員	<p>やっぱり若い人のノウハウで、2名の委員にもいろいろご支援いただき、いろんなネットワークを使ってやって取り組んでおります。ひとつよろしく願います。</p>
座長	<p>分かりました。 市交流定住促進協議会の委員さん、願います。</p>
委員	<p>意見なのですけれども、そういうことであれば、この指標自体の再検討というのがもしかしたら必要なのではないか。海水氷の利用が、では鮮度の高いカキの生産出荷の指標なのかというよりも、カキの価格であるとか、出荷量なのか、生産者の生産額なのかといったところの指標に見直したらいかかかと思いました。</p>
座長	<p>この件は、これは第1期なのですが、第2期にも入っているのですか。</p>
事務局	<p>第2期はこの指標は入っていないです。</p>
座長	<p>ご指摘のとおりだとは思いますが、第2期としては、取りあえずこれは入っていないということで、第1期はこれでやっていたのだけでも、今、委員がおっしゃったように、鮮度のいいものを出すものとしてこれでよかったかどうかというところは課題であったということはそのとおりだと思います。 では、市商工会の委員さん、願います。</p>
委員	<p>行政サイドとしてこのカキの単価を上げるということで、区画漁業権が決まっているので、取れる量というのは莫大に増える話ではないです。そうすると単価を上げていきたいという行政サイドの思いがあって、それをやるためにはどうすればいいか、もういろんなことをやっているのです。東京に出荷する、いろんなところへそれぞれ出荷のお願いをする、いろんなことをやっている中で、カキの品質を上げるには海水氷がいいというのが当時あって、それをみんなに普及しようという取り組みの中でこういう指標が出てきているということで、理解していただければと思うのです。業者のサイドは、これをやったら単価が上がるのではないかというので、いろんな個人出荷に対してそういうものを設定して、これをたぶん、これがついたかどうか。</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

委員	<p>ついている。</p>
委員	<p>だから補助金をつけてでもそれを入れて、海水を入れて出す際、温度を下げるために氷を入れるのですが、普通の氷を入れるとそれは真水に変わっていくので、カキに対してよくないというので、海水の氷を入れることで鮮度なり品質なりを上げていくという取り組みをみんなにやってもらいたいという思いからやっている部分があるのです。長距離で出すのであればすごく有効なのですが、短距離とか個人出荷ではなくても間で全部取ってもらうというのは手間がかかるばかりなので、なかなか普及しづらかったというのがあります。それは、カキの事業者さんそれぞれの事情がありますので、それでやられる方とやられない方がいたということで、ここまでなかなか伸びていかなかったという部分はあると思います。だから、次の計画の中では、これは外し、また、別の方法を考えるということになっているのではないかと思います。</p>
座長	<p>さすがカキ、熱い議論が続くので伺っていましたが。 その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。 市自治会連合会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>丸4の27番、28番。「航路利用者の前年比減少率と路線バスの年間利用者数」の問題なのですが、観光客を伸ばそうというのが江田島市の方針だったのですが、コロナが2年間ずっと続いていたので、これによって減少が続いています。それで目標値を達成しない1つの大きな要因ではあります。</p> <p>もう1つ、私が思うには、地域住民があまり公共交通を利用していないのです。せっかくあるのに、使っていない。陸上では江田島バス、おれんじ号があるのです。これも船との接続の問題とかおれんじ号と江田島バスの接続の問題とかいろんな課題があります。住民側も使い勝手が悪い、乗り換えていたら時間がたって仕方がない、それなら面倒くさいから自転車や隣のおじちゃんにお願いして買い物に連れて行ってもらうとなっています。</p> <p>やはり公共交通というのは、今のところ、なくなったら大変なのです。私は運転できますからいいのですが、もう少ししたら、免許を返納しなければならなくなるような年齢になって、今度はどうしても使わなければいけないのです。それで船がなくなると、広島市へ行けないのです。私は三高航路で行くのですが、病院が広島市にあるのです。市内にもあるのですが、どうしても手術等あるとすれば、広島市の県病院とか日赤とか市民病院、そういうところに行く人が多いです。私たちの自治会の中でも、やはりそういうお年寄りが多いです。市内にある病院に行けばいいのだけど、もう悪い病気とかはどうしても広島市に行くのです。そういう意味で、もし仮に公共交通として皆さんが使わなくなってきて、もしなくなったら、大変な問題になるのです。ですから生活航路として、どうしてもこれは継続しなければいけないのではないかと思います。</p> <p>どうやって使ってもらえるかということなのです。ここでもあるのは、コストという問題があるのです。やっぱり船賃が高いです。年金生活している人は、だいたい私にしても毎月マイナスです。私は会社員でしたから、厚生年金なのです。国民年金だけでやっている人は大変です。厚生年金でやっている人でも、もう赤字です。今までこつこつためてきたものを、振り出してやっているのです。だからそういう意味で、公共交通がなくなっても困るけど、やはり船賃にしたってバスの料金にしたって、安くする必要があると。特に船賃は高いです。私もいけないのかもしれませんが、ほとんど車で行きます。広島市の県病院に家族がかかっているのですが。理由は簡単です。往復で私の車だったらガソリン代が1,000円です。しかし、2人で船を使うと往復で6,000円ぐらいかかります。仮に家族が乗るとまた、プラス1人700円いるのです。非常に高いです。</p> <p>生活者から見ると、ある程度料金も下げていかないといけないけど、ここでもいろんなジレンマがありまして。下げると利用者が少ないものですから、赤字になってしまうのです。今でも赤字なのです。これではどんどん補助金が必要になり、江田島市の財政は非常に厳しい状況になります。広島県とか広島市からも助成していただいて、それでどうにか成り立っているのですが、非常に厳しい状態です。これは海上についてです。陸上についてもバスがあるのですが、なかなか</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	<p>今言ったように使い勝手が悪くて、せつかくあるけれども皆さんが使えない状態です。市としてはいろいろ考えてやっているとは言うけど、現実使っているお年寄りから見れば、使い勝手が悪くて、あっても使っていないという残念な状況になっています。これも住民を含めていろいろ考えて、この公共交通がなくなったら、もう生活できなくなってしまいます。買い物難民、病院に行けないから病院難民、そういうようになってしまうので、これについてはもう、先ほど健康の問題で言いましたけど、絶対必要要件として考えないといけないのではないかと思います。</p> <p>これは江田島市の存続を考えたら、どうしてもみんなで考えていかないといけないと思って今お話をさせていただきました。</p>
座長	この件に関して、事務局からいかがでしょうか。
事務局	<p>なかなか交通については難しいところがあって、ざっくり言って三高航路は、運行経費で1年間3億5,000万ぐらいかかるのです。江田島市の場合、7航路あります。では運賃を下げたときに市でどれだけ支えられるかという、すごく潤沢にお金がある都会ならできるのですが、やっぱり限界があるというのも現実です。</p> <p>あと江田島バスも、だいたい年間で7、8千万円ぐらい補助を出しているのですが、それで15車両です。市内全域をカバーしてやっており、それでようやく回っているということなので、どこまで負担と供給のバランスを取っていくかというのは、やっぱりお客さんがたくさんいる都会とは違う、維持するための努力というのがどうしても必要になってきます。</p> <p>こうすればというのは難しいところがあるのですが、なくしてはいけないという思いは一緒ですので、公共交通について、ご不便をおかけすることがあるかとは思いますが、守っていくので、乗っていただければありがたいです。以上です。</p>
座長	私は他市の公共交通協議会の座長もしているのですが、江田島市に協議会というものはあるのですか。
事務局	あります。
座長	公共交通協議会はやっている。
事務局	はい。
座長	<p>そういうところでの意見の集約とか、あと、もともとここは観光が入って観光客にも乗っていただきたいということもあったのだけど、今は観光客がなかなか来られない中でというような状況です。今日もここに来るときに、実はバスで来ようかなという話も考えて聞いたら、接続が悪いのでということだったので、観光客が利用するにしても、普通に利用するにしても、やっぱりそういうつながり方というのは重要なかなと個人的には思いましたので、また、それはあらためて違う場所で検討していただくことが必要なかなと思った次第です。ありがとうございます。その他にいかがでしょうか。</p> <p>1点、ご検討いただければと思うのですが、観光の部分というのは今出たように非常に重要な要素なのですが、コロナ禍の中で今観光客が減っているということ自体はしょうがないことだと思っているのですが、その前でも平均50万人程度ということで、もともとの平成26年の基準値に比べても令和は下がっているのですが、観光客をアフターコロナなり、ウィズコロナを見越して、増やしていこうという場合、どういうことが必要なのか、この数字も含めてどう考えればいいのか、よろしければ、市観光協会の委員さんからお願いします。</p>
委員	<p>まさに観光協会の課題でございますけど、コロナの関係で令和2年度は減りました。この平成26年の基準値の場合は、宿泊施設が整っていないというところから始まりまして、現在ご存じのようにいろんなホテル、大きなホテル、また、江田島町中央には簡潔な素泊まりのホテルとか、いろんなところが整備をされてきたところだと思っております。</p> <p>観光協会としても、昨年の4月に法人化になり、いろんな施策を取れる体制ができてきましたので、この「えたじまものがたり博覧会」もさせていただいて、コロナ禍の中ですが、いろいろな施策をさせていただいて、交流人口の増加とい</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	<p>うこともアフターコロナのために頑張ってもらっています。</p> <p>まず一番の交流人口の多い海上自衛隊の一般公開が当分されていない。今もまだまだ見通しが立たないというところがございますので、今、観光協会としてもホテルと提携いたしまして、江田島市に宿泊された方が朝、海上自衛隊の課業、朝の朝礼です。これはなかなか見られないのですが、江田島市でしか体験できないようなメニューも考えながら、海上自衛隊の全面協力もいただきまして、進めていこうという段階でございますので、今から、楽しみなことが多いと思っております。ですから数字に関しては、あまり参考にはならないという思いがあります。</p>
座長	<p>分かりました。よろしいでしょうか。</p> <p>もし可能なら、さっきのバスもセットなのですが、バスで観光を回るとしたらどんなふうに回れるのか、モデルがあったらいいなと思うところがあります。それなら実際に回ると、「あれ、これはバスでは回れないな」とか、そういう事が分かると連携やつながりも見えていいのかなと思いますので、その辺も合わせてご検討いただければと思います。</p> <p>ここに関して、他に何かご意見等はございますか。いろいろ活発なご意見をいただけたかなと思っているのですが。</p> <p>1点だけです。シンプルといえばシンプルでよかったのですが、丸とバツだけだと、バツの中でも非常に頑張っている程度三角なり、8割行っているものもありますし、逆にこのがん検診受診率は、どうしてもバツが2つつくぐらいだったりするので、その辺のメリハリをつけて資料を整理されると、例えば特に重点的に必要なところとか、もう一息頑張れば達成できるところとかが見えてくるので、そういうような丸バツだけ以外の表示をされたら、私共ももう少し理解がしやすくなるのかなと思います。これは今後のことなのですが、また、指標の提供の時にご検討いただければと思います。</p> <p>それでは、3番目の事項に関しては以上としまして、次に4番目の事項、第2期人口ビジョン・総合戦略の進捗管理と変更についてということで、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(4) 第2期人口ビジョン・総合戦略の進捗管理と変更について【資料4】</p> <p>※ 内容は、資料4のとおり</p>
座長	<p>それでは、基本目標Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳと分けながら、議論をしていきたいと思えます。</p> <p>まず基本目標Ⅰです。「地域で暮らすためのしごとをつくる。」ということ、ここの中での件に関して、何かご質問、ご意見等ございませんでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>市交流定住促進協議会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>個別の部分になるのですが、プロジェクト2「しごとで稼ぐ」の丸5、「ふるさと納税制度を活用した地場産品の販売促進」というところで、ふるさと納税の返礼品の増加数1件という数値なのですが、これは少し仕事でも私は関わらせてもらっていて、1件ではないとは思っています。私自身がふるさと納税返礼品に登録した数は、令和3年度おそらく何十件レベルであるかなと思うのですが、この数字の根拠というのは。</p>
事務局	<p>これは、新しくつくったものでカウントしようというやり方をしているものです。既存のものが登録されたというのではなくて、新しく開発されてそれをふるさと納税に登録して、結局は今までなかった収益です。それをカウントしていったら、人口効果を取っていかうというカウントになっています。確かにふるさと納税のカタログとか、ものすごく充実させているのですが、その中でこれについては、さかなみそが登録されていると。ここはそういうカウントをしています。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
上水流座長	<p>続きまして、市商工会の委員さんからお願いします。</p>
委員	<p>プロジェクト2の丸2のところの「えたじまブランド認定品の増加数」の件なのですが、これも新商品というカウントの考え方ですか。</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

事務局	これも同じです。新たに取組んだことによって、市が施策として取組んだことによって生まれたものをカウントしております。
委員	そういうことなのですね。えたじまブランドなどで行くと、認定会が3年に一回なのです。そのため、2年間は入らないということになるので、毎年1件というのはあり得ない状態になります。だから今年度でいくと、今までが52件プラスで59件ぐらいやっているのですが、今年認定会なので、80件前後になると。もうすぐ全部の集計が済むのですが、その中に新しくつくったものがあつたかどうかというのは、けっこう新しいものを持ってこられていますので、はっきりと今手元にないので分かりませんが、そういうことで1件というカウントですね。
事務局	はい。
委員	分かりました。
事務局	ちなみに、こちらについては、オリーブオイルを入れています。
座長	よろしいでしょうか。 市観光協会の委員さん、お願いします。
委員	参考までに、プロジェクト3の丸1で説明があったように、この宿泊数ですが、江田島荘の資料であるということでお聞きしましたけど、コロナの関係で、稼働率50パーセントに抑えておられる中での数字だと思いますので、アフターコロナの中では、もっと伸びるということで期待をしているのですが。
座長	喜ばしい話だと思いますので、そこからバスに乗れるといいですね。コロナ禍の影響でバツが付いているということで、あまりコロナと関係するかしらないか分からないのですが、コロナというように直接備考のところがない中でバツが付いているのが、プロジェクト4ということなのです。「若年層への市内企業の紹介や就職情報の提供」ということで、この求人求職について、少し課題を抱えているのかなと思うのですが、この点について、傾向なりこういう課題があるよとか、こういう対策が必要であるということ、呉公共職業安定所の委員さんから少しご意見を伺えたらと思います。
委員	ハローワーク呉は、呉市と江田島市を管轄しているのですが、今年度は高校生の求職者数が前年に比べて、これは10月末現在の数字なのですが、58人、求職者、就職希望者そのものが減っております。この減った原因は、学校の先生に尋ねますと、年代的なものと、あとコロナによる就職難ということもあり、親御さんで考えられて、専門学校なり大学なりに進学するというように切り替えられるというようなお話がございまして、全般的に広島県全体としましても、就職希望者数というのは減っている状況でございまして、そういった中で、江田島市の無料職業紹介事業で、30件想定された中の13件ということですので、半分ぐらいになられているのですが、そういった影響、コロナとは書かれていないのですが、コロナの影響も若干含まれるのではないかと考えております。
座長	お話の中で、年代的なものもあってとありましたが、その年代的なものというのはどういう意味ですか。
委員	その年その年によって就職希望者数というのは、どうしても毎年一定ではなくて、ハローワークへの就職希望者の中には、例えば公務員を目指す方とかいうのは含まれないのです。民間の就職が若干心配になると、公務員の志望者が増えてくるのですが、そういった数はカウントされませんので、その年によって求職者の数が少し変わってくるということで、年代という言葉を使わせていただきました。
座長	それでは、基本目標Ⅰに関してはよろしいでしょうか。 それでは、続いて基本目標Ⅱに関して、皆様からご意見やご質問があればぜひお願いしたいのですが、いかがでしょうか。 ここの部分に関しては、定住、移住というようなことがございますので、この件に関して、市交流定住促進協議会の委員さんから何か情報提供できることがありましたら、お願いします。

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

委員	<p>先ほどもご説明があったとおり、ここ1年間、この令和3年度、非常に移住相談で直接の案内の件数というのが多かったです。例年に比べて倍近い傾向がありまして、要因はいろいろ先ほどもおっしゃられたような要因があると思うので、これはいい傾向かなと思っております。今後も引き続きこういった実績が残していければと考えております。</p> <p>1つ気になったのが、プロジェクト2の「来てもらう、滞在してもらう」の丸1、「移住相談への対応」の相談対応数。計画値200件という目標、これは1年間での計画値ということですか。頑張ります。今年はすごく多かったけど、まだまだ計画値には届いていないということで、分かりました。</p>
座長	<p>イベント事等に関しては、コロナの影響が本当に深刻だったなと思っていますので、また、来年度どうなるのか分からないのですが、コロナの影響が極力ないような形になればいいなと願うばかりです。</p> <p>基本目標Ⅱに関して、他にご意見はございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、続いて基本目標Ⅲについてなんですけども、この部分に関して、委員の皆様からご意見やご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>市交流定住促進協議会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>プロジェクト2「郷土でしっかりと学ぶ」の丸1です。「総合的な学習の時間等における地域と連携した教育の実施」というところの、地域のゲストティーチャー招聘回数143件。計画値に対してすごく上回った実績なのですが、ものすごく多いなという印象があるのですが、どういった方々が143件も来られたのかなというのが聞いてみたいです。</p>
座長	事務局、お願いします。
事務局	<p>どういう方を呼んだかということまで把握していないのですが、私が関与した件であれば、県外の企業の人に来て生徒の前で話すとか、そんな機会もあったりしました。市内の小中学校の全部の積み上げになるので、回数的には積みあがると思うのですが。</p>
委員	丸6も似たような項目があるのですが、これとの区別というのは。企業と地域のゲストティーチャーですね。
事務局	そうです。企業と地域です。
委員	分かりました。
座長	<p>今のご質問の中で、地域の方が先生になるというのは、子どもたちから見ると「自分たちもこうなりたいな」、「ああなりたいな」という目標にもなって、この地域に残っていくきっかけにもなっていくかなと思いますので、資料として出てこないのですが、こういう活動というのはいいことですし、特にどういった方々がそういう役割を果たしているのかというのは、情報を把握されておくと、また、その効果も含めていいのかなと正直思いました。</p> <p>子育てということで、今子育て環境の中で、例えば周りの方々から、「もう少しこんなことをしてほしい」、「これはよかった」、「これは駄目だったね」とか、何か耳に入っていらっしゃるようなことがあれば、教えていただきたいと思うところがあるのですが、いかがでしょうか。他にももし、そういうところでご存じのことがあれば、ご意見をいただきたいのですが。何かございますか</p> <p>市PTA連合会の委員さん、お願いします。</p>
委員	プロジェクト3の丸5番ですね。公園の貸し出しとは何ですか。
座長	事務局お願いします。
事務局	公園は借りようと思ったら借りられるのです。
委員	普段使えるだけでなく、そこを貸し切るという意味の貸し出し。
事務局	そうです。借りて、例えば地域のイベントを開くとかお祭りを開くとか、何かそんなこともできるということで、貸し出しというのは申し込んだらできますよとなっています。
委員	なるほど。ただ、公園が少ないです。私は子どもが4人いるのですが、下の子がもう10歳になるので、公園に連れて行ってとかはほとんどなくなった年代ではあるのですが、本当に小さい時に公園がなくて、保育所とか小学校とかで

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	<p>も遊べないです。保育所で言ったら園庭を開放していますけど、入れないです。これも許可というか、申請を出さないと勝手に行って遊べるものでもないです。確か小学校も勝手に入って遊んではいけないと言われていました。</p> <p>私の出身は江田島市なのですが、県外に行っていて、戻ってきた時には本当に遊ぶ場所がないと感じました。私たちが子どもの時代だったら、山へ行ったり海へ行ったりして遊んでいたのですが、今の子どもは、公園で遊具を使って遊びたいのですが、本当に公園がないというのが一番大きかったです。皆さんはどこで遊んでいるのかなといったら、もう保育所に入れたら保育所、終わって遊んでから帰る。だからわざわざ遊びに連れて行かない。逆に土曜日、日曜日になると、連れて行く場所がない。それだったら鹿川水源地公園のふわふわドームですね。ああいったところに土日になるとすごく人が集まるのがよく分かるのです。行く場所がないので、みんな同じ場所に行く。そこで遊ぶ人も一緒です。限られてくるのですが。もう少し施設があったらなというのは常日ごろからずっと思っていました。</p>
座長	<p>1点目は、まずその公園を貸し出せるということ、連合会の方が知らないというのは、情報伝達としては問題があるのだろうなと。もちろんコロナでイベントができなかったということもあるのだと思うのですが、やはりどういうふうに使えるかということを知るといことは必要だと思います。次に言っていた遊ぶ場所をどう確保するかというのは、今回の項目には入っていませんけれども、最初にあった市民の満足度というところを考えたときに、子どもたちが遊べるような環境ということで、きちんと確保していくことは市にとってもすごく重要なことだと思いますので、貴重なご意見を頂戴したかなと思っております。</p> <p>他にいかがでしょうか。ございますか。 市自治会連合会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>現在のPTAの小中学校の会長、副会長と話をする、今言われた話と一緒に。子どもたちを連れて遊ぶ場所がない、道路しかない。やはり彼女たちからいろいろ相談があるのは、子どもたちと若いお母さん方が遊べるような小公園、または広場。そういうものを各自治会の中に何か所か設けて、そういうのがないと子育てはできない。そういう子育ての環境としては、江田島市は非常に寂しいと私も話を聞いています。</p> <p>まちづくり協議会でもそれに対していろいろ対応等は考えるのですが、やはり現状でいろいろ調査したところ、残念ながらないです。江田島市として若いお母さん方、そういう小さい子どもたちを育てるような環境づくり、そのためにはやはり各地域に各町内の中にもやはり5カ所ぐらい、10カ所ずつぐらいでもない、そういう子育て環境はできません。</p> <p>今のところどうやっているかといいますと、小学校の運動場で遊んでいます。あそこしかないのです。通常、基本的にはあまり使えないのです。何か事故等があったらいけないので、使えないのですが。やはりそれを使えるような環境として残念ながらないです。だから、われわれもいろいろ相談を受けて、それに対して対応しようとして、教育委員会と話してもそれに対する回答がない。場所がないですから、回答しようがないです。</p> <p>私たちが若いときには、海へ行ったり、川へ行ったり、山へ行ったり、江田島市は自然環境がものすごくいいですから、本当にもう朝から晩まで走り回って遊んでいました。しかし今の子どもたちは、遊ぶところがないのです。海へ行っても今は、カキの養殖をやっているで遊ぶと足を切るなど非常に危ない。だから海では遊べないのです。私たちが子どもの時には、放課後は海に直行でした。海が引いていればボールとバットを持って、海岸で野球をすとか、なければ今度は腰まで入って夏場は釣りざおを持って行って、魚を釣っていました。しかし、</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	今はもうそんな環境ではないです。だからそういう意味で、PTA からありましたように、今はそれに代わる何か、そういうような施設、設備が必要ではないかなというように私も思います。応援します。
座長	<p>上の世代とは違う、子どもへの環境があって、それに対応した形の子どもたちが集う、保護者の方が集うような場をつくっていくということが重要だということだと思いますので、この辺もよろしくをお願いします。</p> <p>その他、この項目に関してございますか。</p> <p>それでは、続いて基本目標Ⅳについて、「元気に暮らし続けられるまちをつくる。」ということに関して、皆様からご質問やご意見等をお願いします。</p> <p>市金融懇談会の委員さん、お願いします。</p>
委員	プロジェクト3「みんなで支える体制をつくる。」の丸2の「高齢者に対するケア・見守り活動」ということで、見守りネットワークの登録者数ということが出ていますけど、この見守りネットワークというのはどういうものなのですか。目標が15人で12人の人が登録されていますけど。
事務局	基本的に、この見守りネットワークをしてくれる活動者というのがおられまして、社会福祉協議会でそういった方々の登録者を増やしている状況です。見守り活動だけで言ったときには、例えば民生委員、老人クラブとか、包括支援センターとか、そういった方々も対象者に対して見守りをしているというような状況の中で、さらに社会福祉協議会でそういった活動をしてくれる方の登録者というのを増やして、トータルで補っていくというところの中での12名ということになるのです。だから民生委員さんとかは入っていないです。社協で登録している活動者の人数になります。
委員	活動される方の人数ということですね。
事務局	そうです。
委員	先ほどもありましたように高齢化が続いているということで、大事な取り組みだと思うのですが、どういふものかなと思ってお聞きしました。
座長	<p>ここの課題は、プロジェクト1のがん検診等は、先ほど皆さんでいろいろ議論していただいて、委員からも、基本的な重要なことだということがございましたので、ここはコロナによる受診控えということにはなっていますけども、トータルがやっぱり低いのですので、この件については先ほどの議論を踏まえて、ぜひ効果的な対応策というものをご検討いただければと思うところです。</p> <p>その他この基本目標Ⅳに関して、何かございますか。いかがでしょうか。</p> <p>市自治会連合会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>今、あった高齢者に対するケア・見守り活動で、見守りネットワークの登録者数が増えていないというのがありました。これも社協でいろいろ頑張っておられて、やろうとするのですが、われわれ自治会にも見守りできるような人がいないかと。自治会から見守ってほしい人の人数は、もう提出しているのです。</p> <p>それに対して、見守りする方が高齢者なのです。若い人が基本的にいないのです。通常は誰もそうだと思うのですが、だいたい広島市へ60歳、65歳までは仕事に行っている人が多いのです。ですから残っているのは65歳以上の高齢者なのです。見守りをしようといったところで、見守りしてもらわなければいけないような人が、実は現状では会員なのです。本当に見守りしようとしても、できるような人材がだんだんいなくなっているのです。どうやったらいいかと考えても非常に難しい問題なのですけど。そういう人材がもう高齢化で、見守りする人と見守りされる人が一緒になりつつあるというのが現状です。私が知っている範囲での現状を言わせてもらいました。</p>
座長	<p>介護も老老介護といわれるような現状が続いていますので、そこは変わらないのですが、高齢者の中でも若い方に見守りをお願いできたらと。状況をお話しいただいたかと思います。その他ございますか。</p> <p>今回は、特にコロナということで非常に大きな影響が出ていて、目標を達成できなかったというのがあるのですが、コロナの中で私も気になっていたのですが、コロナの影響は商工業者関係に関して、どういう状況があるのか、課題とかあるのかということをお願いできたらと思います。</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

	市商工会の委員さん、お願いします。
委員	<p>商工業については、影響を受けたところとそんなに受けていないところというのがはっきり出ています。製造業系統はそこまではないのですが、飲食とか小売業も、ものによってはというのがあるのですが、市や県、国、すごく手厚い補助なり支援金なりを給付していただいているので、どうにもならないというのはあまり市内においてはいいです。ただ、高齢者の事業者の方が、もうこのタイミングで廃業にというケースは見られますけど、全体としては、確かに厳しいとみんな言われていますけど、そこまで、もうどうにもならないということまでは追いつまれているというのが江田島市内の現状です。</p> <p>国であれ、県であれ、市であれ、ものすごく手厚い支援をいただいておりますので、それのおかげでなんとか、事業者によってはそのタイミングでいろんなものを、休みなもので、店舗とかを整備したり、いろんな整備をやっていたりとかいうのも見られます。影響をものすごく受けて、事業としてはすごくしんどいのですが、「もうお手上げです」というところまでは行っていない、それぞれみんな努力して、できる範囲でなんとか営業を続けられているというのが現状です。</p>
座長	<p>今、ご説明いただきましたが、他にこの件に関して、それぞれのお立場からこういうところをお話しておきたいという方がいらっしゃれば、お願いしたいのですが、いかがでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>分かりました。それでは、報告・協議事項の4番目につきましては、以上とさせていただきますと思います。</p> <p>それでは、最後の項目ですが、地方創生推進交付金の実施状況について協議したいと思います。それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(5) 地方創生推進交付金の実施状況について【資料5】</p> <p>※ 内容は、資料5のとおり</p>
座長	<p>この件に関して、皆様からご質問やご意見、状況に関する情報提供などございましたら、お願いしたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>市観光協会の委員さん、お願いします。</p>
委員	<p>コロナの関係で、やはり思うような活動はできませんでした。でも、えたじまものがたり博覧会を今回2月23日から3月13日。まん延防止等の環境の中で、一度は実行をためらったわけですが、実行したということと、事業者さんのご理解を得ながら、やらせていただいた中で、おおむね来ていただいた方に好評を得まして、手応えは十分出てきました。</p> <p>いろんな形の中で、この開催メニューも自然との関わりとか、食事とか、いろんなことも試してみたのですが、参加者からいろんなご意見をいただきましたけど、「いい意味でよかった」と。また、「続けてほしい」というような反響もいただいておりますので、また、市の関係各所とも相談しながら、継続して続けていければなと思っております。</p>
座長	<p>6 その他</p> <p>7 閉会</p> <p>その他、いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、この5番目につきましても、以上で協議を終了したいと思います。その他がございますか。よろしいですか。</p> <p>江田島市の場合、私が庄原キャンパスにもいたということもあるのですが、移住といいますか、こちらでも働きながら違うところでも働くみたいなことをすると、人口は減ってきていますけど、観光ということでも個人的には非常に明るい兆しがある地域ではないのかなと思っておりますので、ぜひそのポテンシャルが十分生かせるようなことができるようになればいいなと、私も含めて努力していきたいと思っております。また、何かの機会の折には、本学の学生も勉強させていただければと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、本日のまち・ひと・しごと創生有識者会議を終了したいと思います。では、事務局にお返しいたしますので、よろしく申し上げます。</p>

【令和3年度第1回江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議要点録】

事務局	本日は、長時間ありがとうございました。本日いただいたご意見等を整理しまして、関係部署へ伝えながら、また、施策に活かしていけるように参考等にさせていただきます。ありがとうございました。
-----	---